

キッズプラザ大阪インタープリター 1年の活動を終えて

片山 和子(登録会員)

神戸に住んでいた頃に、PTAの講演会の託児室や児童館のイベントのお手伝いをしたことがあり、何か子供にかかわることが出来ればと考えていました。

大阪市北区区民センターで、キッズプラザ大阪のインタープリター募集のパンフレットを見付けましたが、すでに募集は終了してしまっていたので、後日キッズプラザ大阪のインタープリターについて検索し、三井V-Netを知り登録させて頂きました。

2014年11月頃にキッズプラザ大阪のインタープリターに応募し、2015年1月から3月の間に5回の研修を受け採用となり、4月から科学・自然、文化・社会、乳幼児、キッチンのコーナーのあるフロアでローテーションのインタープリターとして活動予定でしたが、3月末ハイキング中に左手首を骨折し、キッズプラザ大阪に連絡したら、「完治してからの活動でいいですよ」と言って頂き6月末から月2・3回活動しています。



科学・自然のボールコーナーでは、一人では不安になり先輩のインタープリターさんに応援をお願いしたり、たこのえさを食べる様子に見入り。文化・社会の車いす体験コーナーでは、電車に乗ろうと走り出した子供に慌てたり、糸引き独楽や逆立ち独楽が回ったと喜び。乳幼児の郵便局では、配達する葉書がなくなりキッズマートの交代に遅れたり、ライブラリーで今時の絵本やなつかしい絵本に癒され。キッチンでは、親御さんが熱心に聞いて下さり知識不足に落ち込む等、色々な経験をさせて頂きました。

困ったことやわからない点は、職員の方々や先輩インタープリターの方々への相談とか、会議の研修等で解決しています。

インタープリターは、「翻訳者」であり、展示物やプログラムと来館者とのつなぎ役であることを今一度心に止めて活動していきたいと思います。